



広 報

119

KEICHIKU

2017年8月 No. 84

けいちくこういきけん
京築広域圏消防本部



いざ! 出動!!



さまざまな災害現場での状況を把握し、「安全」「確実」「迅速」に活動できる職員をめざして日夜努力しています。

消防本部では、地域住民の安全・安心のために日々訓練を重ねています。

何度でも かくにんしよう 火の元を (平成29年管内児童防火標語)

 **京築救急事情** 年間救急件数の5パーセントを占める**骨折!**

どうする人生のピンチ! 高齢者の転倒による事故が多発!

寝たきりや要介護につながる「骨折」の怖さ・・・

高齢者の転倒→寝たきり→老化の推進→寿命の短縮

高齢者にとって、気をつけなければいけない自宅での転倒・転落事故。

自宅で転んだ人の約1割が、骨折しているというショッキングな結果!!

骨の強度が低下して骨折しやすくなる「骨粗しょう症」の高齢者が転んで、骨折することが多い。



自宅などで転ぶとどうになってしまうの?

- 長期にわたって生活が不自由になる
- 下半身の骨折が原因で長期にわたって寝たきりの状態となる
- 足腰の筋肉が弱くなるため、骨折が治った後も歩けない
- 介護が必要な状態になってしまうこともあります

自宅での転倒・転落事故は、けがをした人の生命をも左右する重大な事故になってしまうことが多いといえます。



自宅などで転ばないためにはどうすればいいの?

- 住み慣れた自宅とはいえ、足元に注意しましょう
- 階段や廊下を歩く際は手すりにつかまりましょう
- 常日頃から体を動かすときは「注意一秒・けが一生」の言葉を思い出して用心しましょう
- 動ける身体を維持するために筋肉を大切にしましょう!
「歩く・昇る・降りる・捻るなど」簡単な動作からでも始めましょう

 **京築火災事情**

京築広域圏消防本部管内では、原因別火災発生件数で見ると火入れが第1位を占めています。特に、田畑やあぜの草、下草を燃やす行為から周囲に燃え広がって火災となるケースが多く発生しています。

あなたのつけた火は、最後まで責任をもって消えたことを確認してください。

主なケース：①火をつけたままその場所を離れ火が広がった。

②風が強い日に焼却したため、風にあおられ飛び火して、周辺に燃え広がった。

③乾燥注意報が出ているときに火をつけて周辺に燃え広がった。

ゴミなどを屋外で燃やすことは法律で禁止!されています。



禁止されている不適切な焼却をすることにより、発生する臭いや煙のために、「窓が開けられない」「洗濯物が干せない」「健康被害が心配だ」などの**苦情**が寄せられています。

生活ごみなどを焼却すると、ダイオキシンなどの有害物質が発生し、人の健康や自然環境に深刻な影響を与えます。

住宅用火災警報器や消火器を備え、火災予防に努めましょう!

災害は私たちの 想定を超えてやってくる!

過去の大災害の教訓—災害は想定を超えると大災害となる

特別警報

『特別警報』（大雨、地震、津波などにより重大な災害の起こるおそれがある時に気象庁が発表して最大級の警戒を呼びかけます）が発表⇒数十年に一度のこれまでに経験したことのないような異常な状況にあります⇒危険を察知してただちに命を守る行動をとってください。

「想定を上回る豪雨にそれまで機能していた対策が通用しなかった」ことが実際に起こっています。自然は、私たちの想像をはるかに超える力を持つと考えることが必要です。

1ヵ月雨量の1.5倍の雨が一気に降ってきた!

本年7月の中国・九州北部を襲った豪雨災害では、災害地域において観測史上最大の豪雨となり数日で平年7月期雨量の1.5倍の雨が降りました。

想定していた水量をはるかに上回り、川がはん濫し道路や田畑をドロ色の濁流が波うって流れでて、甚大な被害となりました。

近年の風水害は、地球温暖化による気候の変動により、今後はさらに強い大雨や強風に見舞われる可能性が高くなっています。**想定外の災害を想定する**必要が生じています。

「ゲリラ豪雨」(ゲリラ豪雨は落雷の事故も伴う可能性がある)から身を守るには

◆**予兆を知る**…真っ黒い雲、雷鳴・雷光、冷たい風が吹くなど

空の様子チェックポイント!

- ・真っ黒い雲が近づき周囲が急に暗くなる。
- ・雷鳴が聞こえたり雷光が見える。
- ・ヒヤッとした冷たい風が吹き出す。
- ・大粒の雨や「ひょう」が降り出す。などがあります。



◆**落雷にも注意が必要!**

電柱や高い木の近くなどは危険。高いものを通して落ちる傾向があるため木や電柱からは2～4メートル以上離れる。

鉄筋コンクリート建築物や自動車の内部などに避難する。グラウンドやゴルフ場、屋外プール、砂浜などの開けた場所は人に落雷しやすくなる。

◆**浸水被害にも注意が必要!**

側溝にごみをためない。道路わきの側溝にごみや土がたまると、雨水が下水道に流れず浸水被害を引き起こす。側溝に落とさず、ごみとして出しましょう。土のうは重ねたときに隙間ができないように土のう袋には土や砂を6～8割程度入れておく。

街中で突然ゲリラ豪雨に遭遇した場合、丈夫な建物の2階以上に避難してゲリラ豪雨をやり過ごすことが大切。



「どんな災害に遭おうとも、生きていれば復興できる」

勇気と決断力を持って自分の命を守るための判断をしてください。

京築広域圏消防吏員 採用試験案内



試験日・試験会場

- ◎第1次 平成29年10月15日(日)
豊前市立八屋中学校
- ◎第2次 平成29年11月下旬
京築広域圏消防本部

受付期間 平成29年8月7日～平成29年8月24日

採用予定人員・受験資格

消防吏員4名程度
平成3年4月2日から平成12年4月1日までに生まれた人

最終合格発表 平成29年12月初旬予定

採用 平成30年4月1日予定

案内及び受験申込書請求・問い合わせ先

受験申込書は、京築広域圏消防本部総務課総務係又は分署、出張所に用意しています。
また京築広域圏消防本部ホームページからダウンロードできます。

〒828-0061 豊前市大字荒堀525番地1
京築広域圏消防本部総務課 ☎0979-82-0119

**ニューフェイス
紹介!!**
(平成29年4月採用)

写真左から▶

- 消防士 大津 直人
- 消防士 川本 光輝
- 消防士 松田 滋史
- 消防士 郷原 拓也
- 消防士 三隅 雄太
- 消防士 安藤 聖也



現在、福岡県消防学校にて
初任教育入校中です。

編集後記

家から自転車で数分のところに中津城というお城があります。私が小学校の頃、友達とかくれんぼをしたりして遊んだ思い出深い場所です。数年前、NHK大河ドラマ「軍師官兵衛」放映の影響で観光客が急激に増えています。この中津城は、黒田官兵衛が初代城主のことです。黒田官兵衛は織田信長に認められ、豊臣秀吉に頼りにされ、徳川家康に恐れられた戦国時代の名軍師だったそうです。

私も官兵衛のようには言いませんが、知恵を振り絞り皆さんの日常生活に役立つ防災情報をわかりやすくお伝えできればと思っています。

